

〜うってたいて〜
見よう
知ろう
楽しもう 能

6年1組 5班

1. 提案のきっかけ

川西小学校では、4年になると能の学習をする。その時「能ってしんどいけど楽しいな」と思った。しかし能は川西町発祥だと知らない人が多いことがわかったのは、川西町出身じゃない親に聞いた所「そうなん」と知っていなかった。だから新しい鳥居のイベントでやって町外の人でも町内の人ならもっと知ってほしいと思った。

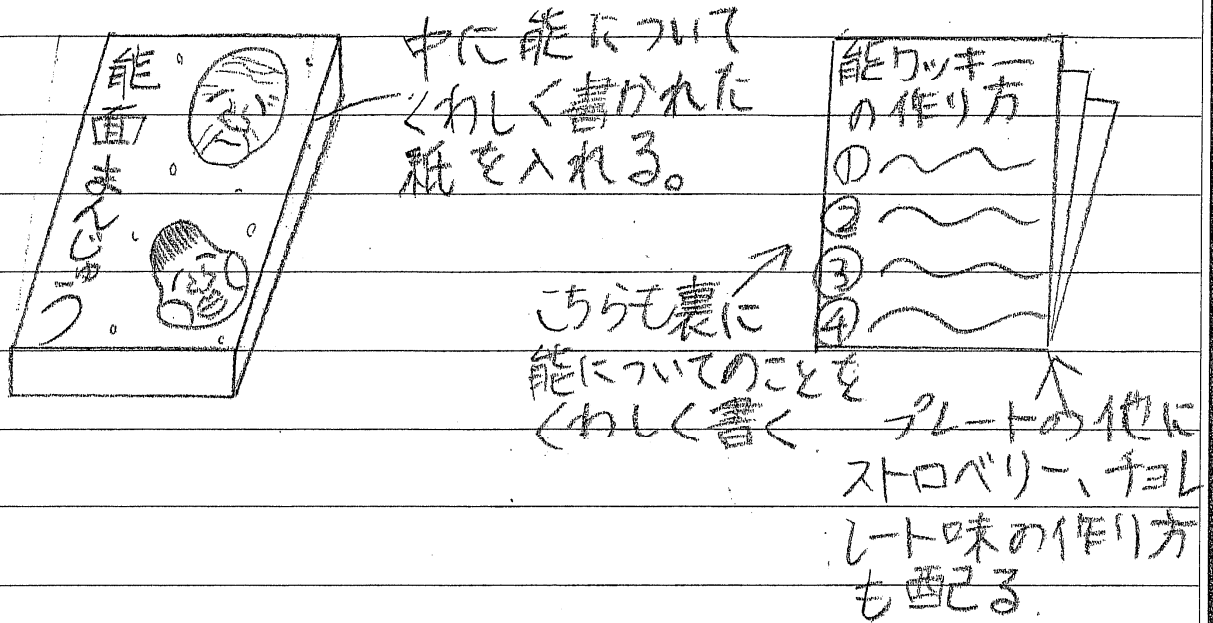
お兄ちゃんやお姉ちゃんに話を聞くと、それ以降能にふれることはないと話していた。

その原因の一つは、町で行われる能のイベントが少ないことが考えられる。また能と聞くと川西町の伝統芸能だから、気軽にふれていいのか分からない人たちが多いと思う。

だから、伝統芸能をつなげていきたい、広げていきたいと思った。

能に対する理解のために、イベントで、能面まんじゅうを売ったり、能クッキーなどのレシピを配ったりすることを提案する。これは、能についてのことを知ってもらいたいという理由からだ。

具体的には、下の絵のようになる。



能まんじゅうを売ったり、能クッキーのレシピを配ったりすることによって、能クッキーの作り方が広まり、作ってもらえると思うし、能についての興味が深まり、おもしろいと思ってもらえると思うと考える。

(2) 能の発表

能は発表して人々に楽しんでもらうものだ。だから、能ぶ台で能の発表をすることを提案する。

理由は、能の発表を見せると、みんなが楽しめるし、みんなが能のことを分かってもらえると思ったからだ。

具体的にはこのような内容で発表しようと思う。

・小学生の発表

・プロの発表

・古ふんから見る

能の発表をすることによって、能のすばらしさ、能の楽しさを知ってもらえるのではないかと思った。それに、能を見に行きたいと思って、行ってもらうと川西町の事を思い出してくれるのかなと思った。

(3) 能の体験

能のことをもっと知ってもらうために、能の体験をすることを提案する。

理由は、能の道具にさわってみたいという人もいるし、能の道具を知ってもらったら、よりのイベントを楽しんでもらえると思ったからだ。

具体的には、次のような内容を体験してもらおうと思う。

- ・まず全部の体験に能のやり方を説明する。
- ・しまいでは、すり足とせんすの使い方
- ・小つづみでは、持ち方と打ち方とかけ声の仕方
- ・たいこでは、木書え方と打ち方とかけ声の仕方

この能の体験をすることによって、やったなという感覚が残り、川西町のことを思い出してくれるのではないのかと思った。

(4) 能のパンフレットの配り布

能のことが分からない人のために、各入口の入ったところに能のパンフレットを配り布したいと思う。理由は、能のことが分からない人

が来たら、何をしているのかが分からない。だからパンフレットにしようと思う。それにより少しでも分かってもらえたらいいと思った。

具体的に、次のような内容をパンフレットにしたいと思う。

・ 能の歴史

・ 能の楽器の説明

×パンフレットのイメージ図を裏に書いてある。

このパンフレットを配布することによって、能の歴史や能の楽器のことが分かって、楽しく能の発表を見たり、能の体験が楽しくてくれると思った。

まとめ

私たちのグループでは、この学習を通していろいろなものを身に付けました。例えば、文章を考えることや絵をかく力がちょっと身に付きました。こういう機会をくださり、ありがとうございました。

もし、このイベントが実現したとき、川西町に活気があふれると思った。

将来の駅・広場は、町の玄関口なので、きれいに、みんなが集まる駅・広場がいいなと思った。

川西町をすばらしくするためにはこれから自分たちもPRしたいと思った。この駅ができたることによって川西町をいい町にできると思った。